

滋賀県障害者技能競技大会実施要領 ビルクリーニング競技課題(2021)

一般的な注意事項 「共通事項」

- 1、 今年度は競技課題：弾性床清掃及び机上清掃の1課題の評価点数とする
- 2、 課題に制限時間が定められます。
標準時間10分とし、制限時間は12分とします。
- 3、 使用する資機材は、支給されたもの以外使用できません。
- 4、 競技採点は、作業準備、作業動作(手順)、仕様誤り、作業態度、作業時間の5面から審査します
- 5、 作業に適した服装で競技を行ってください。
- 6、 作業開始は審査員の指示で開始して下さい
- 7、 「始めます」「終わりました」の申告と、入退室の際「失礼します」「失礼しました」以外は、声をださないで下さい。

◎課題:弾性床清掃及び机上清掃

- 1、 作業面積は16㎡(4m×4m)とし、幅木により区画とします
- 2、 床材は会場都合にて塩化ビニール系床材もしくはフローリングとなります
- 3、 ゴミ処理・床面の掃き作業・拭き作業及び机上拭きの作業です
- 4、 作業に使用する色々な資機材・消耗品は、作業用カートに乗せてあるものを使用して下さい
- 5、 モップの柄は、長さ調整出来るので、作業前に自分にあつた長さに調整して下さい
- 6、 乾式モップ用クロスは競技者が作業前に取り付けて点検して下さい
- 7、 床のゴミは「おが屑」とし、50ml程度をまいたものとします
- 8、 幅木の上には壁があるものとし作業を行って下さい
- 9、 作業場所にある机は移動させないで下さい
- 10、 使用した資機材は、指定された場所へ片付けて下さい

滋賀県障害者技能競技大会
ビルクリーニング競技

◎ 資機材一覧表

1、 各競技場に準備されているもの

(1) 課題:弾性床清掃及び机上清掃

品名	寸法及び規格	数量	備考
作業カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台	
作業表示板		1個	
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1本	
ラーグ(モップ房)	260g 白色	1枚	
小型ぼうき	30cm幅用	1本	
乾式モップヘッド	63cm	1枚	
文化ちり取り	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1個	
タオル	無地 水拭き用(青色)1枚 ; から拭き用(白色)1枚	2枚	
ダスタークロス	60cm幅の不織布	1枚	
ビニール袋	ゴミ箱用替袋	1枚	
イス	パイプ式おりたたみ	1脚	

2、 競技者が持参準備するもの

品名	寸法及び規格	数量	備考
作業着(上下)	動きやすい服装	1着	
作業帽又は三角巾		1個	
作業靴		1足	

滋賀県障害者技能競技大会
ビルクリーニング競技内容

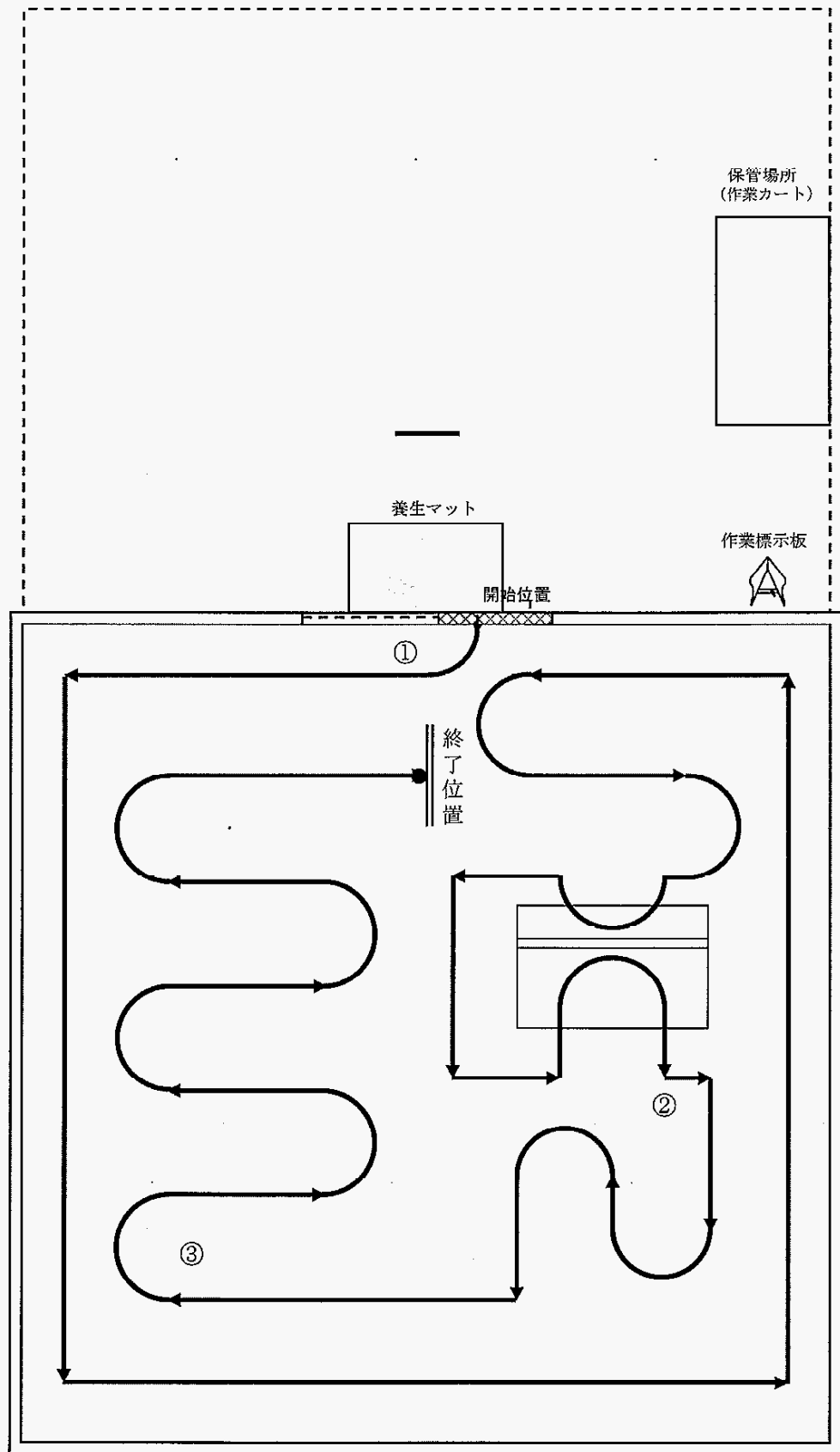
課題2： 弾性床清掃及び机上清掃

標準時間：10分 制限時間：12分

作業工程	作業方法	補足事項
資機材の準備	① 資機材の配備を確認する。 ② モップの柄の長さを調整する ③ ダスタークロスを乾式モップヘッドに装着する	資機材に不備があれば申し でる
競技開始の挨拶	所定の位置より審査員の合図で「始めます」と挨拶を 行い競技を開始する	片手を挙げ一礼をする
作業準備	① 作業カートを保管場所から作業場所の近くへ移動する ② 所定の位置に作業標示板を立てる	
入室の挨拶	入口にて、室内に向かって入室の挨拶をする	「失礼します」と一礼し入室する
イス上げとゴミ処理 1) イスを上げる 2) ゴミ回収 3) ゴミ袋のセット	① 作業前にイスを机の上に上げる ② ゴミ箱にセットされているゴミ袋ごと回収し、カートのゴミ 袋に入れる ③ スペアのゴミ袋を取り出し、ゴミ箱にセットする ④ ゴミ箱を机の上に上げる	・イスは机の四隅からはみださ ないよう正しくのせる ・ゴミ箱は机の四隅からはみだ さないよう正しくのせる ・ビニール袋を正しくセットする
除塵作業 (掃き作業)	① 乾式モップを装着し、外から入口を徐塵し作業場所へ はいる ② 入口より奥に向かって右幅木側、幅木側、机の下、中央 部へと順に作業をする ③ 前進しながら出口に向かって一箇所にゴミを集める ④ ヘッドを柄から外し、使用済みのダスタークロスをヘッド から外す。 ⑤ 柄とヘッドと使用済みクロスをカートにもどす ⑥ 小ボウキと文化塵取りを持って集めたゴミをとる ⑦ ゴミの取り残しがないか点検する ⑧ 小ボウキと文化塵取りをカートに収める	・ゴミを踏まないように足場を 確保する ・ヘッドを幅広を先行させる ・ヘッドを床から離さない ・使用済みクロスはカートの袋の 中にいれる ・ゴミの取り残しあれば小ボウキ と文化塵取りでゴミを取り除く ・ヘッドはカート上部にスポンジ 面を上にして置く
水拭き(モップ)	① コート全面を隙間なく拭く ② 幅木側、机の下、中央部の順に拭く ③ コーナー周りとし机の足元は、ラージに手を添えて拭く ④ モップは時々裏返しモップ全体を使って拭く ⑤ モップは横拭きとし後退しながら拭く	・拭き残しや拭きムラのないよ うにする ・横拭きはモップ柄の先端に親指 を添えるのを基本とする ・幅木や机の脚に触れないよう に注意する ・拭いたところを踏まないようにする
ゴミ箱とイスをおろす	安全に音を立てないようにおろす	・足の上に落とさないよう注意する
机上拭き	① 青色のタオルを八折にし四隅から中央へ行う ② 横拭き・縦拭きを行う ③ 水拭き後白色の乾いたタオルでから拭きを行う ④ 水拭きと同様に横拭き・縦拭きとする	・拭き残しや拭きムラのないよ うにする ・タオルが汚れたらきれいな面を 使用する
点検	指差し及び目視による点検を行う	
退室の挨拶	出入口にて室内向かって退室の挨拶を行う	「失礼しました」と一礼する
資機材の片付け	① 作業標示板をカートに収納する ② 作業カートを元の保管場所に戻す	
終了挨拶	所定の位置に立ち終了挨拶を行う	片手を挙げ「終わりました」と申告 する

滋賀県障害者技能競技大会
ビルクリーニング技能競技

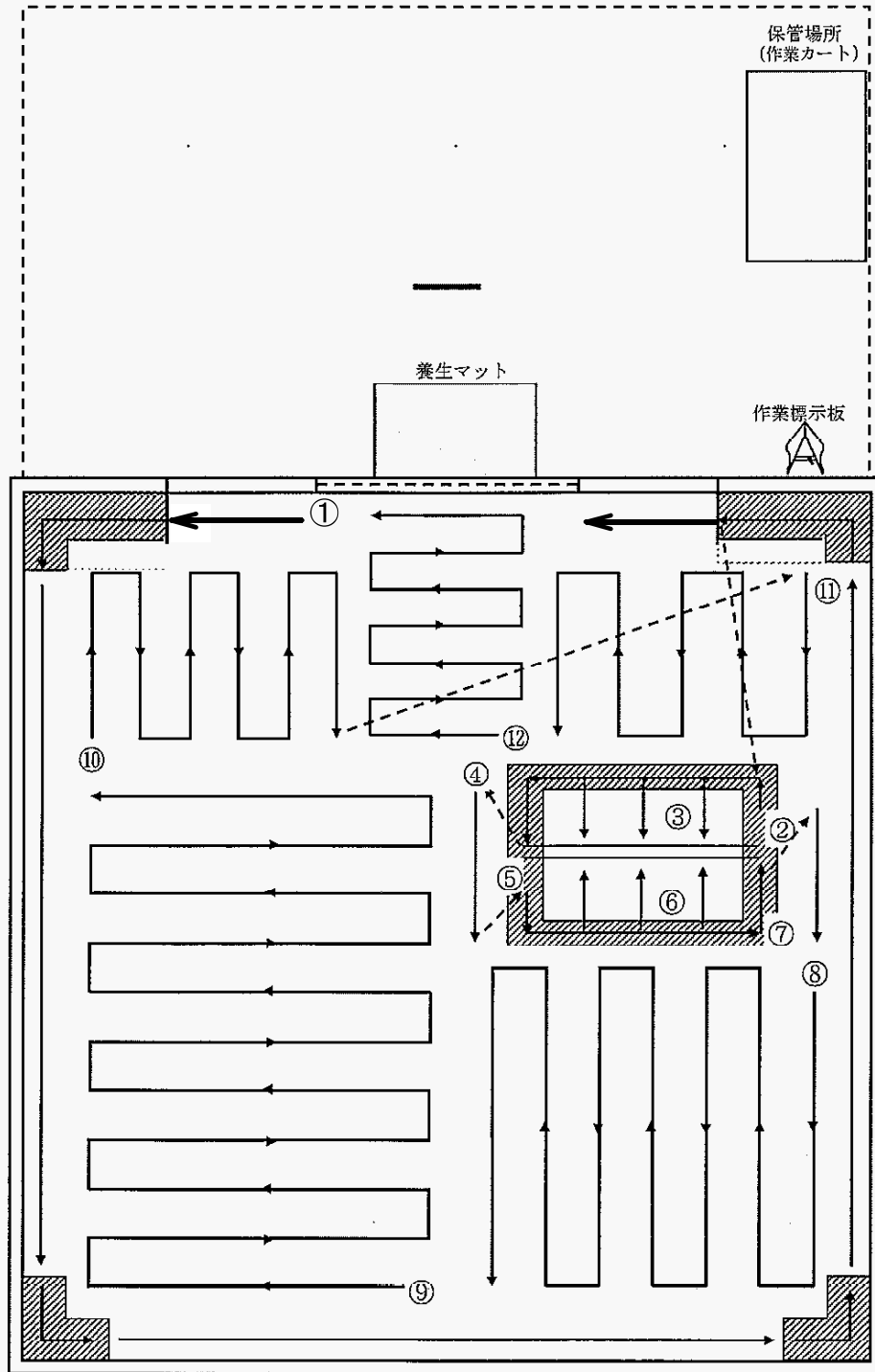
課題2 弾性床床清掃及び机上清掃 乾式モップ作業手順




注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

滋賀県障害者技能競技大会
ビルクリーニング技能競技

課題2 弾性床床清掃及び机上清掃 水拭きモップ作業手順



注：  印は手を添える箇所を示す。

水拭き回数を入れたものではありません。

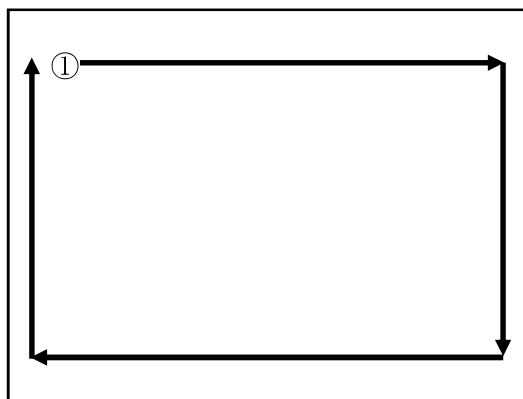
①巾木側を1週すること。(コーナーは手を添えます)

②～③机の足回りを拭き、机の下を拭く。(足回りについては手を添えて)

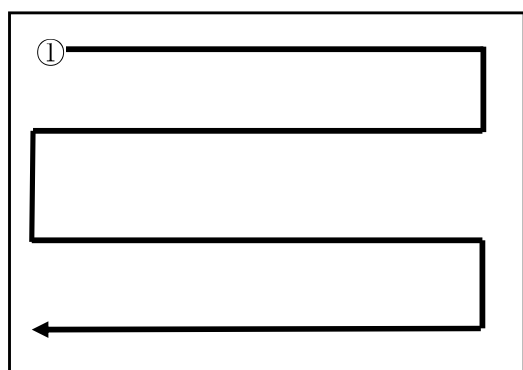
⑤～⑥反対側の机の足回りを拭き、机の下を拭く。(足回りについては手を添えて)

⑧～⑩スパンを決めて拭き上げる。

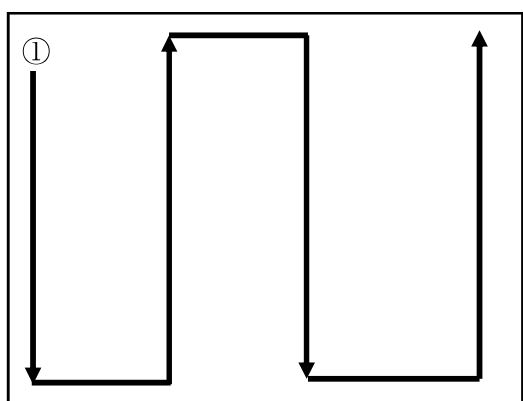
机上拭き作業手順 例



①四角く、縁にそって拭きます。
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。
(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。
(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)

④から拭きも同じように行います。

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆として構いません。